

第1学年3組 音楽科学習指導案

期 日 平成30年11月22日(木)
場 所 法吉小学校 第1音楽室
授業者 教諭 下村 早紀

1 題材名 いろいろなおとをたのしもう

2 題材の目標

音遊びをしながら打楽器の音の面白さを感じ取ったり、音色やリズムに興味・関心をもって聴いたりする活動を通して、音や楽曲の特徴に気づき、楽曲全体を味わって聴く能力を養う。

3 題材設定の理由

(1) 題材について

低学年の児童は、生活の中で歌ったり、身の回りの物を鳴らしたり、踊ったりしながら音楽表現を楽しんでいる。また、音楽を聴くと自然に体を動かしたり旋律を口ずさんだりするなど、音楽を感覚的にとらえる傾向が見られる。そこで、音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取っていく鑑賞活動を進める中で、注意深く集中して聴く習慣を身につけ、音楽を聴く楽しさを味わうことが大切である。

本題材では、即興的な音遊びの活動や、打楽器の音色に注目して聴く活動を通して、音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴く力を養っていくようにする。

音遊びでは、小物打楽器を使っていろいろな音の出し方を試し、奏法や打つ場所を見つけ出す活動を進めていく。それらによって音への興味・関心を高めたり、音の特徴を聴き取ったりすることを通して、鑑賞の学習に生かしたい。

鑑賞では、教材として「シンコペーテッド クロック」(ルロイ・アンダソン作曲)を扱う。この楽曲は、規則的なリズムの中にシンコペーションが入るA-B-A'形式の愉快的な曲で、児童が楽しんで聴くことができる。Aではウッドブロックが規則正しく時を刻む秒針を模した音にときおりシンコペーションのリズムが聴こえてくる。主旋律はのびやかな弦楽器の音色が特徴的である。Bでは、トレモロ奏で表されるトライアングルの音色が、目覚まし時計のベルのように聴こえる。A'では、A同様にウッドブロックや弦楽器の音色が特徴的である。最後のcodaでは、時計が壊れてしまったような面白さが、カウベルやスライドホイッスルの音色で表されている。全曲を通して、リズムなどのかかわり合いに気づき、音楽を聴く楽しさを味わうことができる教材である。この楽曲では、時計の音を表す打楽器の音色とリズムに注目し、体の動きを取り入れることで、楽曲の気分を感じ取っていく。

本校研究主題「自分の思いをもち、仲間とともに、生き生きと表現する子どもの育成」を受け、即興的に音楽遊びをしたり、音楽を聴いたりする中で、気づきや発見など児童の心を動かす場面や互いにかかわり合いながら思考する場面を通して、音色の面白さを感じ取り、楽しく表現したり聴いたりすることができる学習活動としていきたい。

(2) 児童について

<個人情報保護のため省略>

(3) 指導にあたって

音遊びをしながら打楽器の音の面白さを感じ取ったり、音色やリズムに注目して聴いたりする活動を通して、音や楽曲の特徴、演奏のよさに気づき、楽曲全体を味わって聴く能力を養うことをねらいとする。本題材では、児童が小物打楽器で音遊びをする活動をし、奏法を工夫してリズムに興味をもたせて鑑賞へとつなげたい。そこでは、児童が事前に学習した打楽器が出てくることに自ら気付くことができたり、時計の様子を思い浮かべ、音色やリズムを聴きながら曲の世界へ入って楽しんで聴いたりする姿を期待する。

○本校の研究仮説と本題材のねらいに迫る支援について

①音楽で身につける力を明確にし、そのための手立てを工夫した授業づくり

「音楽で身につける力」は、音色、リズム、反復が生み出す曲の面白さを感じ取ることである。「手立て」として、次のことを工夫する。

- ・ 聴く視点をもたせながら楽曲を部分的に繰り返し聴くことによって、ウッドブロックやトライアングルなどの打楽器の音色やリズムの変化、A-B-A'形式の音楽の流れ（反復）に気付けるようにする。
- ・ 体を動かしながら聴くことを積極的に取り入れ、聴く視点をもって集中して聴くようにしたり、指導者も児童の動きの変化を把握したりする。
- ・ 児童の発表を視覚的にとらえやすい形で板書することによって、楽曲の楽しさや構成に気付けるようにする。

②互いのよさを認め合う場の設定

- ・ 友だちの表現を学級全体で試したり、気付いたことを発表したりすることで、一人一人の感じ方の良さを認め合うようにする。

4 学習指導要領とのかかわり

(1) 本題材で指導する事項

音楽づくり ア
鑑賞 ア イ

(2) 取り扱う主な音楽を形づくっている要素 音色 リズム 反復

5 教材

おとあそび だがっきバージョン
「シンコペーテッド クロック」(ルロイ・アンダソン作曲)

6 評価規準

(1) 領域・分野と評価の観点

評価の観点 領域・分野	ア)音楽への関心・意欲・態度	イ)音楽表現の創意工夫	ウ)音楽表現の技能	エ)鑑賞の能力
A. 歌唱				
A. 器楽				
A. 音楽づくり	○	○	○	
B. 鑑賞	○			○

(2) 題材の評価規準

ア)音楽への関心・意欲・態度	イ)音楽表現の創意工夫	ウ)音楽表現の技能	エ)鑑賞の能力
①打楽器の音に興味・関心を持ち、音遊びに進んで取り組もうとしている。 (音楽づくり：事項ア)	①打楽器の音色や様々な特徴を聴き取り、それらのよさや面白さを感じ取りながら打楽器の音の出し方を工夫している。 (音楽づくり：事項ア)	①打楽器の音色や様々な特徴に気付き、それらを生かして音遊びをしている。 (音楽づくり：事項ア)	①時計の様子を表す打楽器の音色やリズムの面白さを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら楽曲の気分を味わって聴いている。 (鑑賞：事項ア)
②時計の様子を表すいろいろな打楽器の音色やリズムに興味をもって、楽しんで聴こうとしている。 (鑑賞：事項ア)			②音色やリズム、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素のかか
③音色やリズム、反復に興味・関心を持ち、それらのかかわ			

り合いを感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。(鑑賞：事項イ)			わり合いを感じ取って聴いている。(鑑賞：事項イ)
--------------------------------------	--	--	--------------------------

7 指導と評価の計画 (全4時間)

次	時	主な学習活動(○ねらい・学習活動)	教材	評価規準と評価の方法
一	1	○打楽器の音に興味・関心をもって音遊びをすることができるようにする。 ・教師が鳴らした打楽器の音を聴き，体を動かす。 ・打楽器で音のリレーをする。 ・お気に入りの音を見つける。	おとあそび だがつきバージョン	ア① 発言内容 活動の様子の観察
	2	○打楽器の音色や音の特徴を生かしたり，奏法を工夫したりして音遊びをすることができるようにする。 ・児童が一人一つ打楽器を持ち，教師の音を聴き，模倣したりお話ししたりする。 ・見つけた音を使って友だちと，模倣したりお話ししたりする。 ・友だちの工夫した音の鳴らし方(打つ，振る，擦る，響きを止める等)を聴き，模倣して音を鳴らしたり，音リレーをしたりする。		イ① ウ① 発言内容 活動の様子の観察
二	3 (本時)	○時計の秒を刻む音を表すウッドブロックや，目覚ましのベルを表すトライアングルの音色やリズムが楽曲にもたらす面白さを感じ取って聴くことができるようにする。 ・音楽にあわせて体を動かすなどして，ウッドブロックやトライアングルなどの音色やリズムに興味をもって聴く。	「シンコペーテッド クロック」	ア② エ① 発言内容 活動の様子の観察
	4	○打楽器の音色やリズム，反復などのかかわり合いを感じ取り，時計の様子を想像しながら楽曲全体にわたる気分を味わって聴くことができるようにする。 ・打楽器の音色やリズムなどに気を付けて，体を動かしながら通して聴く。 ・楽曲を聴いて気付いたことや感じたことを伝え合う。 ・伝え合ったことを確かめながら楽曲全体を味わって聴く。		ア③ エ② 発言内容 活動の様子の観察

8 本時の学習 (本時 3/4)

(1) ねらい

- ・時計の秒を刻む音を表すウッドブロックや，目覚ましのベルを表すトライアングルの音色やリズムが楽曲にもたらす面白さを感じ取って聴くことができるようにする。

(2) 展開

学習活動(・予想される児童の反応)	教師の支援	評価規準と評価の方法
1 常時活動(音リレーなど)をする。	・打楽器を使って音遊びをし，鑑賞活動につなげる。	
♡2 「シンコペーテッド クロック」の冒頭を聴き，時計を表した音を聴き取り，その	・どんなところで時計の曲と感じるか尋ね，一定のリズムで時を刻む時計を表	

理由を音楽の中から見つける。 3 本時のめあてを確認する。	していることに気付けるようにする。	
とけいのおとに きをつけて きこう		
<p>☆4 Aの部分を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウッドブロックが時計の音みたい。 ・時計の音があったりなかったりする。 ・ときどきカッコンカッコンが、カッコカンになっているよ。 ・おかしいリズムになるときがあるよ。 <p>5 A—Bの部分を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目覚まし時計のベルみたいな音が聴こえたよ。 ・トライアングルを続けて鳴らすときの音みたい。 ・ウッドブロックが聴こえなくなった。 <p>6 全部通して聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初の音楽に戻った。 ・またウッドブロックが出てきたよ。 ・またカッコンカッコンって聴こえたよ。 ・真ん中だけトライアングルが出てきた。 ・ウッドブロックが何回も聴こえた。 ・ヒューン、カンカンって音が鳴ったよ。 <p>7 演奏の真似をしながら全曲を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やっぱり時計が壊れた。 <p>8 本時のふり返しをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時計がウッドブロックやトライアングルを使って音楽になっているなんて面白いな。 ・最後の時計が壊れたとき、いろんな音が聴こえてきたよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージしやすいよう題材名と時計の絵を板書する。 ・実際の楽器を提示し、教師が範奏する。 ・一緒に体を動かすように働きかけ、ウッドブロックのリズムを取るようになる。 ・ベルの音は、音遊びで使用したトライアングルであることを伝える。 ・トライアングルの音が聴こえたら立つようにして、音色の変化に気付けるようにする。 ・色画用紙を貼って A—B—A' 形式を明確にする。 ・自分が時計になったつもりで体を動かしている児童を紹介し、互いの感じ方のよさに気付けるようにする。 ・壊れた時計の音を掲示する。 ・楽器の音色やリズムに注目して聴けたことを賞賛し、次時への意欲付けをする。 	<p>ア② エ① 発言内容 活動の様子を観察</p>

(3) 予想される児童の具体的な姿

【音楽への関心・意欲・態度】ア②

十分満足できると判断される児童の姿の具体例	<ul style="list-style-type: none"> ・ウッドブロックのシンコペーションのリズムを聴き取り、リズムに合う動きを表情豊かにしようとしている。 ・トライアングルのベルの音を予測したり、聴き取った音に合わせて楽しんだりして体を動かそうとしている。
おおむね満足できると判断される児童の姿の具体例	<ul style="list-style-type: none"> ・ウッドブロックやトライアングルの音を聴いて、その音の特徴に合わせて体を動かそうとしている。
支援を要すると判断される児童の姿の具体例と支援	<ul style="list-style-type: none"> ・手を動かして聴く活動に取り組もうとしない。 →教師が視線を合わせたり、傍で一緒に活動したりする。

【鑑賞の能力】エ①

<p>十分満足できると判断される児童の姿の具体例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ウッドブロックのシンコペーションのリズム、トライアングルのトレモロの音を聴き取り、音楽に合った体の動きを豊かにしている。 ・終わりの部分で現れたカウベルやスライドホイッスルの音色に気付いた発言や体の動きをしている。 ・曲想が変化したところで、体の動きを変えている。
<p>おおむね満足できると判断される児童の姿の具体例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ウッドブロックのリズム、トライアングルのトレモロの音を聴き取り、音楽に合った体の動きをしている。 ・ウッドブロックやトライアングルの音を聴き取り、どんな時計の音を表しているか想像したことを発言している。
<p>支援を要すると判断される児童の姿の具体例と支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どの音に着目するかわからない。 <p>→教師が視線を合わせたり、傍で一緒に活動したりする。</p>

(4) 授業研究の視点

- ・部分聴取を繰り返したり、体を動かしたりしながら鑑賞したことは、児童が音色やリズムを感じ取るために有効であったか。

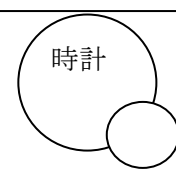
9 板書計画

とけいの おとに きをつけて きこう

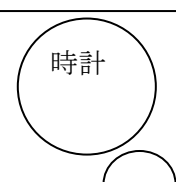
時計

きよくめい
シンコペーテッド クロック


時計



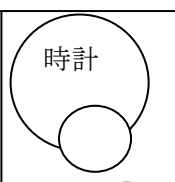
時計



時計



時計



カッコンカッコン

おなじリズム

カッコカン

ときどきくるうよ

とけいがやすんでる

リーン

おこそうとしている

カッコンカッコン

またもどった

おきたのかな

カカカッコカッコ

ふえみたいなおと

おちてこわれた

カン

ピー